

最先端技術 RTK-GNSSによって 数cm単位の精度の 位置情報を取得



GNSS衛星



固定基地局RRS

電子基準点VRS

補正情報

・移動局(コンバイン)は、衛星(GNSS)から受信する位置情報と、固定基地局や電子基準点から受信する補正情報の2つの電波で高精度に位置を求めています。

・補正情報の取得方法は、固定基地局のデータを利用するRRS方式と、複数の電子基準点情報から移動局の近くに仮想基準点を作成し利用するVRS方式があります。

■ 補正情報の取得方法

基地局	通信方式	通信機器	使用条件
固定基地局 RRS		デジタル簡易無線	固定基地局より約5km以内
		スマートフォン+Ntripアプリ	回線通信エリア圏内 固定基地局から約10km以内
		専用受信端末	
電子基準点 VRS		スマートフォン+Ntripアプリ 専用受信端末 Ntrip	回線通信エリア圏内

※RTK (Real Time Kinematic) は、リアルタイムキネマティック測量の略で、既知点からの補正観測情報をインターネット回線や無線を利用して、コンバイン(移動局)に送信し、コンバインの位置をリアルタイムで測定する方法を言います。※GNSS (Global Navigation Satellite System) は、GPSやGLONASSなどの測位システムの総称で、日本語では「地球航行衛星システム」や「全球測位衛星システム」と呼ばれています。※電子基準点とは、国土地理院が管理する全国約1,300カ所に設置されたGNSS連続観測点。※ほ場での測位誤差は、RTK-GNSS 2点間の相対位置 誤差/数cm ※GNSS受信機は、対応型式である必要があります。補正情報: RRS方式/VRS方式補正情報のデータフォーマット: RTCM3.0/RTCM3.1/RTCM3.2/CMR/CMR+ ※Ntrip (Networked Transport of RTCM via Internet Protocol) は、GNSSの観測データや補正データの送受信をインターネット経由で行うための通信方式です。

※補正情報サービスには、別途、通信機器代・通信費・利用料がかかります。

《もしものときも安心!》補正情報が一時的に途切れても、作業を中断せずに継続!

万が一、自動走行中に補正情報が途切れ、RKT高精度測位状態を維持できない場合は、自動でD-GNSSに移行し、最大60秒間自動走行を継続。その間にRTK高精度測位に復帰すれば、そのまま自動走行を継続。復帰しない場合は、自動走行を一時停止します。



ヤンマーホームページ
<https://www.yanmar.com/jp/>



ヤンマーアグリ最新情報をご紹介
ヤンマーアグリ
公式facebookページ



ヤンマーアグリ製品やサービスをご紹介
「ヤンマー農業チャンネル」
YouTube チャンネルはコチラ



ヤンマーアグリ株式会社
〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com



このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



⚠ 安全に関するご注意

- ・ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- ・故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- ・保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ…



YH6115

6条刈り / 115PS



SMARTPILOT

収穫の「自動化」で、 手放しの喜びを。

オートコンバインなら、直進・刈取昇降・旋回、糞排出への移動まで自動化できる。
だから、経験の少ないオペレーターにまかせても安心。
熟練者でも細かい操作が減り、長時間乗っても疲れにくい。
さらに「自動ロス制御」がスイッチ1つで糞のロスを抑えた作業を実現。
ロスの少ない確実な収穫を、より速く、そして、誰にでも。

オートコンバインの自動運転で

経験が浅くても能率よく作業ができる。
熟練者が長時間作業をおこなっても自動運転で疲れにくく、
一日中均一でムラのない作業を続けることができる。

自動ロス制御で

面倒な操作をしなくても車速などを自動調整し
糞のロスを最適に抑える。

誰でも、ロスなく、高能率に



オートコンバインの
機能解説動画が
ご覧になれます。

オートコンバイン

YH6115

ほ場の約9割^{※1}を自動操舵で作業できる

最初の1周分を手動走行で刈取りし、ほ場の外形を登録すれば、次の2～3周は「枕地直進モード」で直進中のハンドル操作が不要に。それ以降は「オートモード」を使えば、手放して刈取作業が行えます。

※1: ヤンマー調べ。ほ場面積0.92ha(122×76m)

1 作業領域を登録

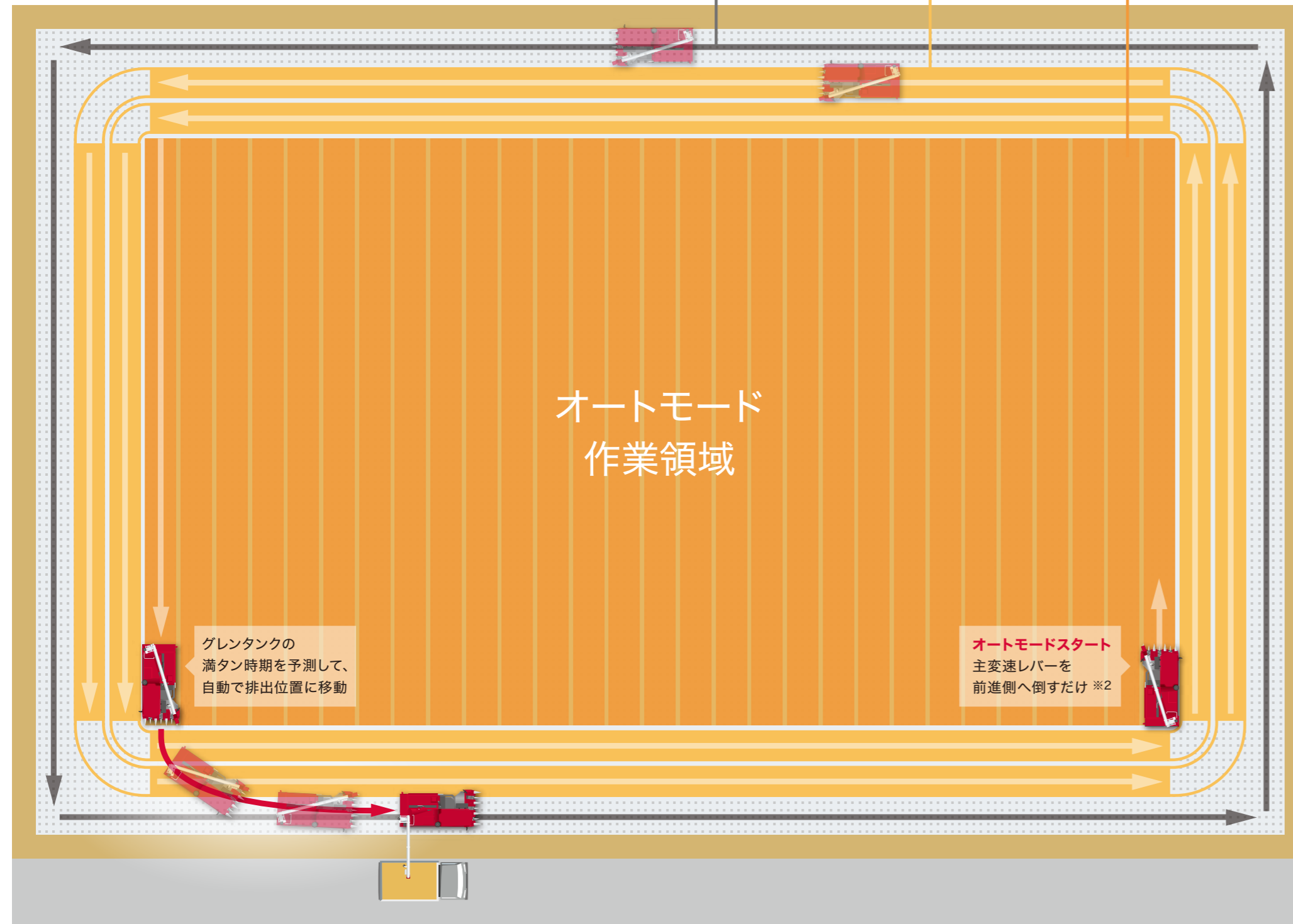
最外周1周分を手動で刈取りながら、ほ場の外形を登録。

2 枕地直進モード

登録したほ場外形に合わせて、2～3周分の直進操舵を自動化。

3 オートモード

刈取作業の操作を自動化。^{※2}
※2: 刈高さの微調整は手動



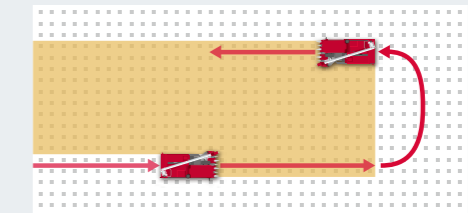
「自動操舵」が刈取作業の疲労を軽減
用途に合わせて選べる3つのモード

オートモード

直進、刈取昇降、旋回、排出への移動、中割りの位置決めを自動で行います。



オートモードの作業動画がご覧になれます。



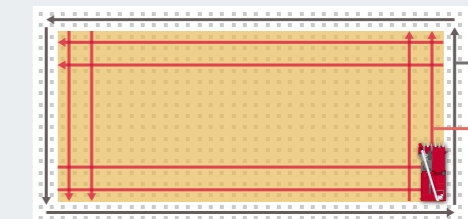
刈取り・旋回が自動、兼ね合わせも不要

枕地直進モード

ほ場外形の辺に対してそれぞれ平行に自動操舵を行います。回り刈り時にも使用可能です。



枕地直進モードの作業動画がご覧になれます。



ほ場外形の登録が必要。
枕地直進モード

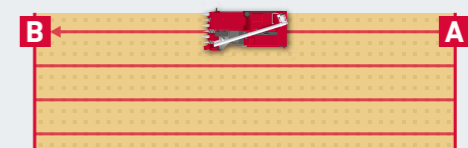
※ 旋回時は手動操作が必要です。ハンドル操作をすると枕地直進モードは自動で切れます。

直進モード

設定した基準線に平行して自動直進。変形田でオート経路が作成できない場合でも直進の自動操舵が可能です。



直進モードの作業動画がご覧になれます。



直進の基準線を登録することで自動直進作業が行えます。

A点(開始地点)とB点(終了地点)で設定するだけ

※ 旋回時は手動操作が必要です。ハンドル操作をすると直進モードは自動で切れます。

オートモード

乗っているだけで
高精度×高能率に刈取り

旋回も 全自動

プロに
負けない
スピーディな
旋回を実現

効率の良い経路を
スムーズに旋回。

自動で素早く条合わせや
刈取部の昇降をおこない、
旋回から刈り始めまでの
速度が落ちない。

※OKデバイタはオプションです。

旋回をより速く、ムダなく

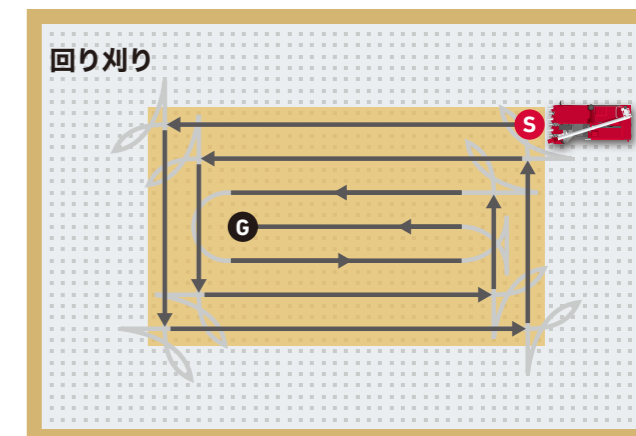
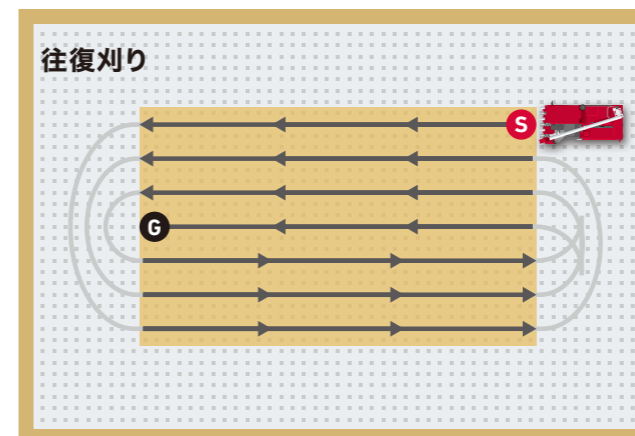


旋回シーンの
作業動画が
ご覧になれます。

できるだけほ場を荒らすことなく、また能率を損なわないように、
作業をするほ場の条件に合わせて刈り方が選択できます。

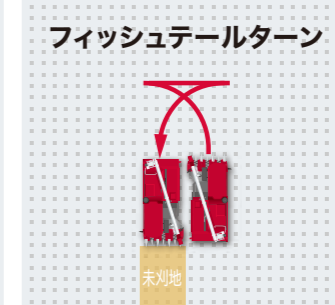
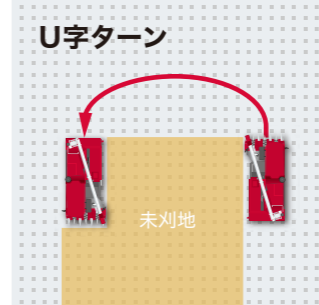
[経路パターン] 2パターンの刈り方が選べる

S 作業開始 G 作業終了



[旋回パターン]

3つの中から
効率の良い
ターンを自動で
選択します。



刈終り・旋回・刈始めはすべて自動運転におまかせ



刈終りに刈取部が
自動で上昇します。



条合わせに神経を使わずにすみ
疲労を軽減できます。

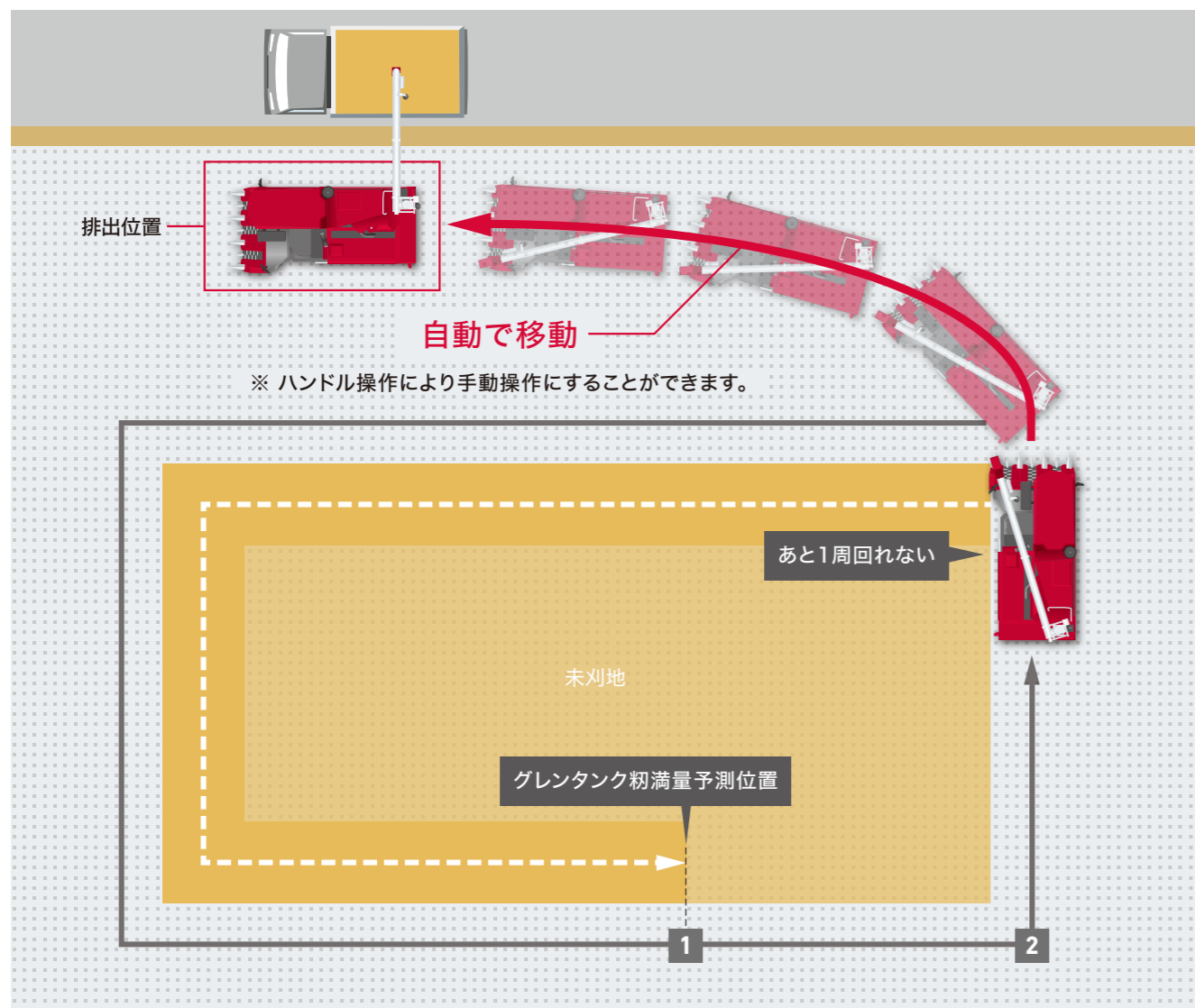


刈始めに刈高さを
自動でセットします。

※ 写真のOKデバイタはオプションです。

※ 実際の販売モデルとは形状が異なる場合があります。

オートモード 自動で排出ポイントへ移動



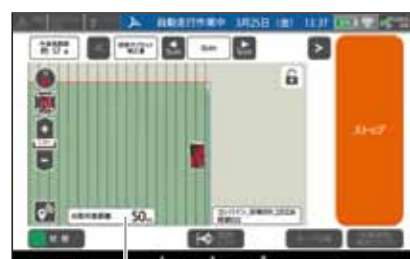
■ 自動排出移動

グレタンク満タン時期を予測してお知らせし、自動で排出位置に移動します。

※ 排出作業は手動です。

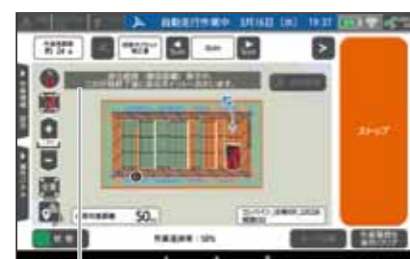


自動排出移動の設定と作業動画がご覧になれます。



刈取可能距離 50m

グレタンクが満タンになるまでの走行可能な距離をタブレットに表示。



1 グレタンクが満タンになるまで残り1周以下になった時点で、排出位置までの経路を表示。



2 最終工程に入ったタイミングでメッセージを表示。

オートモード 設定した回数だけ自動で中割り



■ 自動中割り

刈り取り時間が最も短くなるように自動で中割り位置を設定。中割り回数を手動で設定することもできます。



オート経路作成・中割り設定画面



自動中割りの設定と作業動画がご覧になれます。

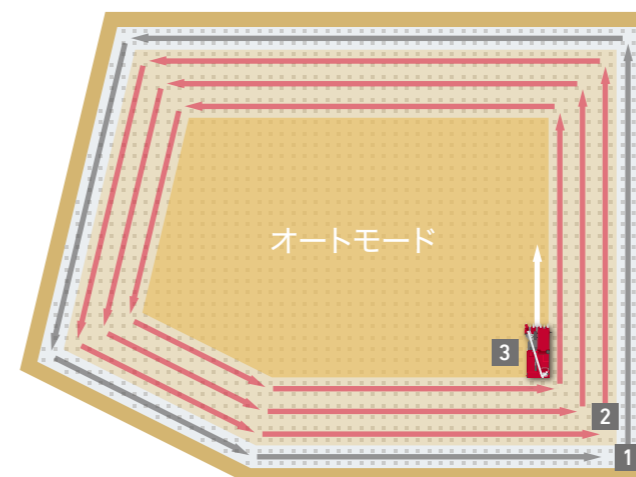
3つの自動モードでどんなほ場にも対応

[多角形ほ場の作業工程例]

枕地直進モード + オートモード

多角形ほ場もほとんどを自動で直進でき大幅に省力化できます。
(最大30の角まで可能。ただし角と角の間は11m以上)

- 1 作業領域を登録
- 2 枕地直進モード
- 3 オートモード

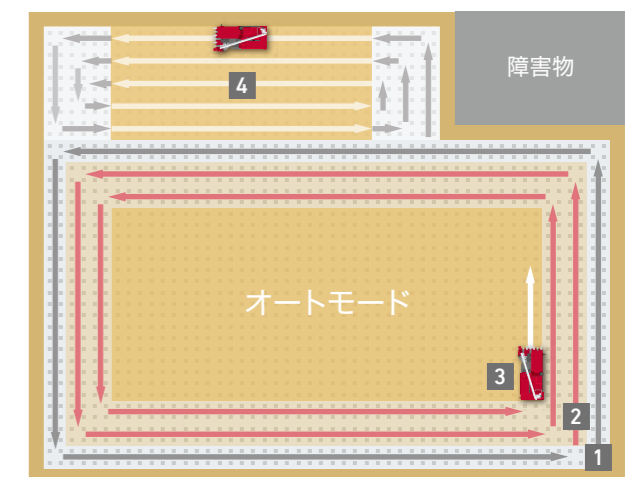


[障害物などのある凹型ほ場の作業工程例]

枕地直進モード + オートモード + 直進モード

領域を分けることで大部分の作業を自動化できます。

- 1 作業領域を登録
- 2 枕地直進モード
- 3 オートモード
- 4 直進モード



手放しの歡びに、さらなる快適と安心を



自動運転中も、各種設定・作業状況の確認が簡単



■ 10.1インチタブレット

水・埃・衝撃に強い大画面タブレットに、各種情報をアイコンやイラストでわかりやすく表示。複雑な入力をすることなく、タッチだけで感覚的に操作できます。

■ 音声ガイダンス機能

タブレットスピーカーから、15種類の音声でお知らせ。音声内容はタブレット画面にも表示されるので、耳でも目でも確認できます。

自動モードの設定もタブレット操作で簡単

ほ場外形登録

ほ場の最外周1周を手動操作で通常の刈取りを行えば登録完了

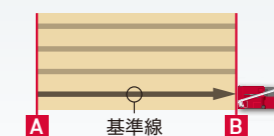
枕地直進モードの設定

- ほ場外形登録を元に作業領域の設定
- 作業経路の作成
- 主変速レバーを前進側に倒しスタート*

オートモードの設定

- 作業方向・経路パターン・中割り回数の設定
- 作業経路の作成
- 主変速レバーを前進側に倒しスタート*

直進モードの設定



- 開始地点「A」を設定
- 終了地点「B」を設定
- 作業経路の作成



※ タブレット上の「スタート」またはハンドル右スイッチ「ON」を操作すると自動作業が行えます。



ハンドルを握ったまま自動操舵を入・切

オートコンバインならではの安心・安全を追求



シートスイッチセンサー

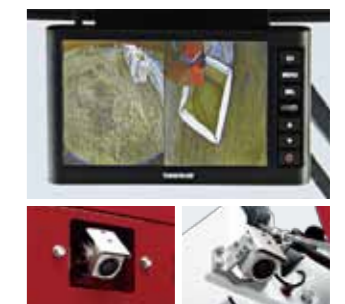
■ シートスイッチ付デラックスシート

前後・上下・背もたれの調節が可能。また、シート下のスイッチで人が座っているかを感知。座っていない時は自動操舵が作動せず、誤作動を防ぎます。



■ 持ち手 + アームレスト

ハンドルから手を離している時でも、安定した姿勢で安心して作業ができます。



キャビン内上部に使いやすくレイアウト

■ デュアルモニター

見やすいキャビン上部に設置。機体後方と排出オーガ先端の映像が確認できます。

ヤンマーならさらに『収穫ロス』も自動で最適化



3モードのオート機能
直進操舵から刈取り・旋回まで
コンバインまかせ

+

自動ロス制御
ロスを最小化するために
車速などを自動調節

▼

ロスを気にせず
確実な収穫が
だれでもできる

※ OKデバインドはオプションです。

ヤンマー独自の自動制御で、収穫ロスを最適に抑える

・自動ロス制御

こぎ胴・揺動での初のロスを検知し選別・車速・送塵・風量を自動調整。選択可能な5段階の制御レベルに応じて、設定されたロスの上限值を超えると制御が動きロスを低減します。



自動ロス制御の機能解説動画がご覧になれます。

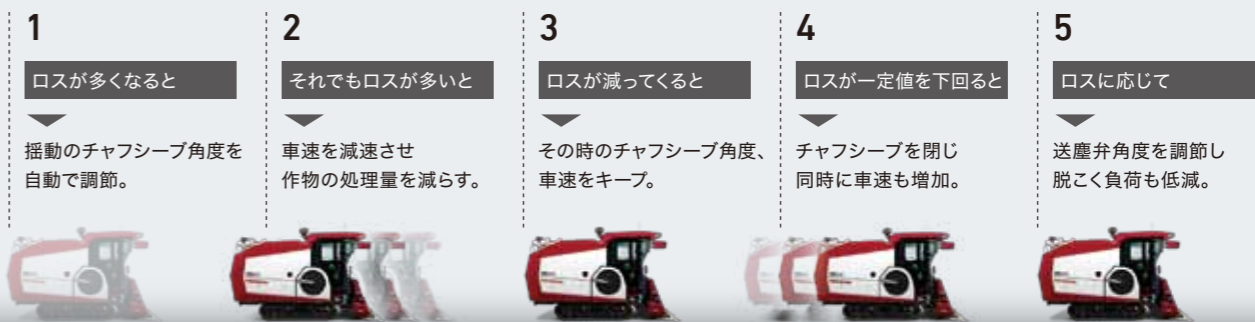


自動ロス制御スイッチ



設定メニュー画面
[カラーセンターディスプレイ]
ロス低減重視か、作業能率重視か、5段階で制御レベルを調節できます。

《自動ロス制御の流れ》



唐箕風量は、排ワラ量に応じて常に自動調整され、作業に合わせてロスを低減します。

※ エコモードスイッチを「入」状態にして使用してください。
※ 自動ロス制御中は各調節ダイヤルで「風量・選別・送塵」を操作できません。手動で各ダイヤル調節を行う場合は、自動ロス制御を「切」にしてください。
※ ロスセンサが塵・泥等で汚れていると正常に作動しないことがあります。汚れをぬれ雑巾等でふき取ってください。

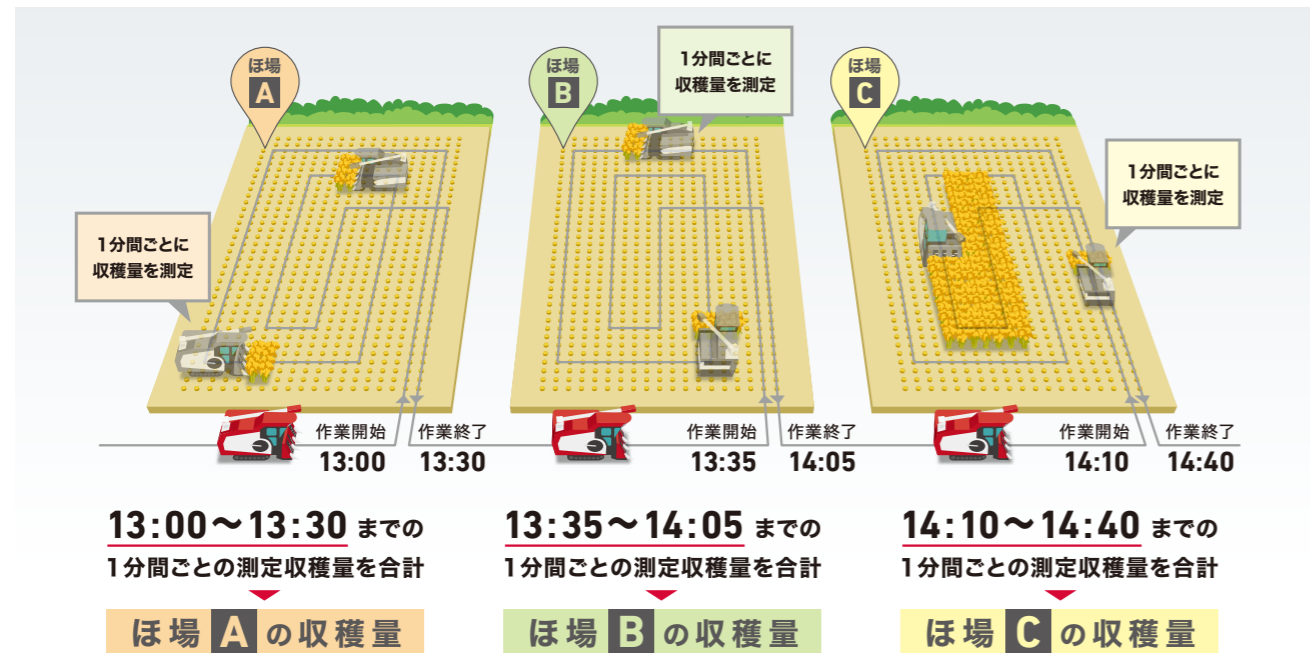
収穫しながら収量を測定、Webサイトで収量分析までできる

【 情報支援機能 】

収穫量を自動で測定し、ほ場ごとの収穫量を算出

■ 収穫量モニター機能

グレンタンク内にある収穫量センサーが1分間あたりの収穫量を測定し、その積算を合計収穫量とします。この収穫量データに「時間(何時何分から何時何分まで)」と「位置(どのほ場で収穫したか)」の情報を組み合わせることで、ほ場1枚あたりの収穫量を算出します。



ほ場内の収穫量のバラつきを見える化

■ 収穫量マッピング機能

より短いスパンでの収穫量の測定を実現し、メッシュ(網目)単位で表示します。メッシュ一辺の長さは5m・10m・15m・20mから選択可能。ほ場内の収穫量のバラつきが把握でき、土作りや施肥設計など翌年のほ場改善に活かれます。

※1: 収穫量マッピング機能のオプション対応は、P.16を参照。



ヤンマーが提案する《トータルソリューション例》

他の機械・サービスと連携させることで収穫量と品質の安定化がより図れます。

1 リモートセンシング：ドローンでほ場を撮影して作物の生育状況を見える化。施肥・防除が必要な箇所・量をマップ化します。



2 可変追肥：ほ場のどの箇所にもどれくらい追肥を行うべきかを示した施肥マップデータを用いることで、可変追肥を行います。

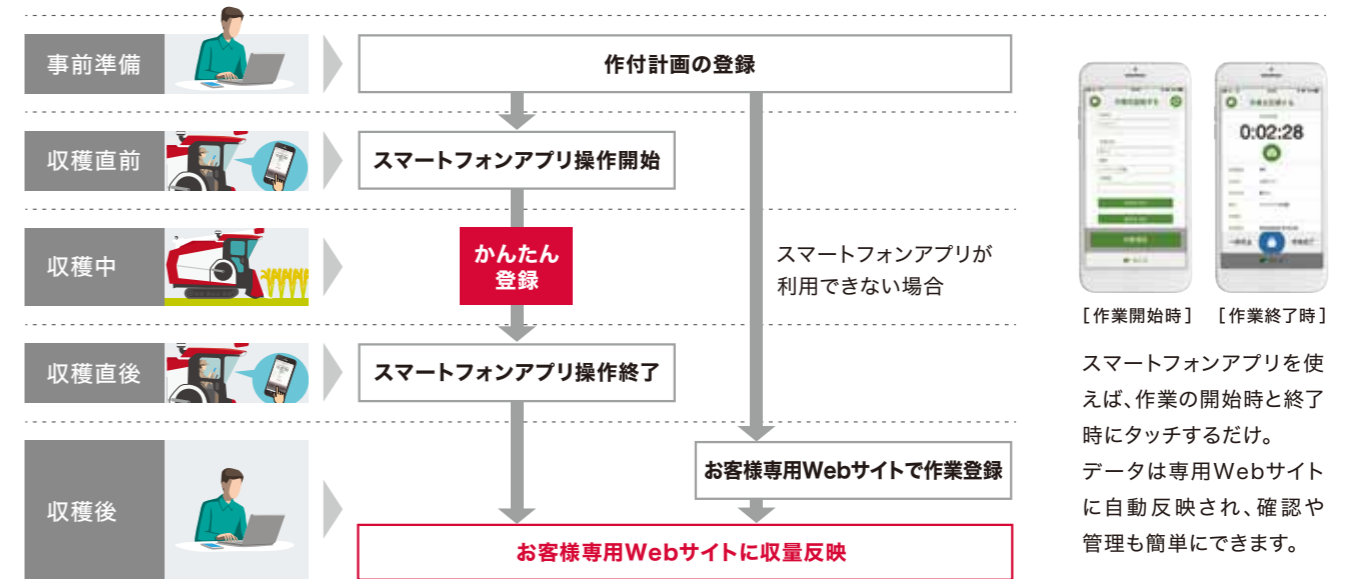
3 収穫量マッピング：ほ場内の収穫量のバラつきが把握できるので、よりきめ細かやかで適正な施肥設計につなげることができます。

4 可変基肥：適所・適量の可変基肥を行うことによって肥料の散布量を最適化できるので、生育の均一化・安定化が図れます。

収穫量センサーおよび収穫量マッピングで測定できる作物 米 小麦 大麦

※ 収穫量センサーは衝撃力検出型収穫量測定方式。精度は±5%以内となるように設計していますが、ほ場・作物条件によってこれらの精度から外れる場合があります。
※ 収穫量センサーのセンサーパッドは、250時間ごとを目安に点検し、500時間使用またはパッドの厚みが1mm以下になった時を目安に交換してください。

算出データを「スマートアシスト」サイトに反映・記録



※ スマートアシストサービスについてはP.29、またはホームページをご覧ください。

収穫情報を一括管理、わかりやすく集計・表示



ほ場ごとの収穫量を自動で見やすく記録。

コンバインが計測した収穫量をスマートアシストの画面で確認すると、ほ場ごとの収穫量として一覧表示されます。

エリア別の収穫量の傾向も一目でわかる。

ほ場ごとの収穫量を反収の多い・少ないにより色分けされた地図で確認。ほ場の特性がつかめ、次作の作付計画に活用できます。



反収の順位を確認、比較対策がしやすい。

ほ場ごとの反収を多い順に棒グラフで表示・確認でき、お米の品種による理想的な収穫量範囲の比較分析などに役立ちます。

全ほ場での収穫量・品質の安定化に便利。

反収別にはほ場枚数を積み上げた棒グラフで反収の分布を確認でき、反収ベスト5・ワースト5のほ場情報も一覧できます。

■ 主要装備

[○:標準装備 ▲:オプション]

販売型式名	YH6115	販売型式名	YH6115
区分	QXJPUIAM	区分	QXJPUIAM
エコディーゼルエンジン	○	オーガマルチリモコン	○
DPF	○	無線オーガリモコン	○
SCR	○	カッタ排わら電動切替	○
快速制御	○	刈取クイックペダル (流し込み装置)	○
自動定回転制御	○	電動分草かんオープン	○
オートデセル	○	防塵カバー (前方・後方)	前のみ
車体水平制御 (左右)	○	快速二重胴・あざやかロータ	○
車体水平制御 (前後)	○	ステンレス受網	○
自動刈高さ (OKリフト)	上昇のみ	豪速オーガ	○
自動こぎ深さ	○	オーガシュータ	○
刈終り自動収納	○	スイングプレート (タンク内湿材対応)	○
刈取オートリフト / オートセット	○	二分割スプロケット	○
刈取オートクラッチ	○	刈取サイドオープン	○
オーガオートセット / オートリターン	○	引きしオープン	○
キャビン	○	バックライト付SWボックス	○
DCソケット・CDラジオ	○	こぎ口・後方・オーガ作業灯	○
フレクリーナ	○	左側面作業灯	○
ロータリスクリーン	○	集中注油装置	電動
ハイマウントマフラー (湿性向上)	○	座ったままで簡単注油	○
電子制御FDS	○	こぎ胴ロスモニター	○
フィットステアリング (方向微調節)	○	揺動ロスモニター	○
旋回モード切替	3way	自動ロス制御	○
作業速度設定ダイヤル	○	水分計	▲
カラーセンターディスプレイ	○	収量モニター	○
カメラ	バックカメラ オーガカメラ	収穫量マッピング	○
カメラ映像表示	センターディスプレイ デュアルモニター	プリント出力	-
サスペンションシート (ガスダンパ)	○	手こぎ安全装置	○
デラックスシート (リクライニング)	○	送塵弁モータ駆動	○
刈取・脱こくパワークラッチ	○	ステアリング右スイッチカスタマイズ機能	○
オーガパワークラッチ	○	SA-R (スマートアシストリモート)	○
		プレミアム点検パック	○

■ オートコンバイン用オプション

品名	商品コード	備考
RTK用受信端末	CFX-BOX	別途、RTK年間使用料が必要。2026年3月で3G停波が予定されています。
RTK年間使用料	CFX-RTK3G	CFX-BOX用 (初年度)
	CFX-BOX3G,2	CFX-BOX用 (2年目以降)
ハーネスキット (CFX-BOX)	1A8620-99650	コンバインとCFX-BOX電源接続ハーネス。 ※ YT3R直進アシストトラクターと共用
ハーネスキット (デジタルムセン)	1A8065-99840	シリアルカブラ6極→RS232C変換ハーネス。デジタル簡易無線などへのシリアル出力用。
ハーネスキット (デンゲンSB)	1A8065-99540	ソフトバンク受信端末NSX7000取付用の電源ハーネスとハーネスデジタルムセンのキット。
タブレット用バッテリー	1E6C75-88130	予備用



◀ その他のオプションについてはQRコードからご覧ください。

■ 主要諸元

名称	ヤンマーコンバイン		
販売型式名	YH6115		
区分	QXJPUIAM		
機体寸法	全長 (カッター付)	(mm) 4830	
	全幅	(mm) 2215	
	全高	(mm) 2775	
機体質量 (重量) (カッター付)	(kg)	4630	
エンジン	型式名	4TNV94FHT-NRC2	
	種類	水冷4サイクル4気筒立形ディーゼル インタークーラターボ (CR)	
	総排気量	(L[cc]) 3.053[3053]	
	出力/回転速度	(kW[PS]/rpm) 84.8[115.3]/2500	
	使用燃料	ディーゼル軽油	
	燃料タンク容量	(L) 120	
	尿素水タンク容量	(L) 14.3	
	始動方式	セルスタータ式	
クローラ	幅 × 接地長	(mm) 600×1845	
	中心距離	(mm) 1200	
	平均接地圧	(kPa[kgf/cm ²]) 20.4 [0.208]	
走行部	変速方式	油圧サーボ付 HST無段変速 電子制御FDS	
	変速段数	(段) 前後進無段 × 副変速3段 (油圧2段・ギヤ2段)	
走行速度 ^{※1} (エンジン定格回転速度時)	前進 = 低速: 0~0.99 標準: 0~2.00 走行: 0~3.20		
	後進 = 低速: 0~0.93 標準: 0~1.81 走行: 0~2.75		
刈取部	刈取条数	(条) 6	
	デバイダ先端間隔	(mm) 1980	
	刈取装置形式	対向駆動方式	
	刃幅	(mm) 1947	
	変速段数	同調2段 × 引越し2段	
	刈高さ範囲	(mm) 50~150	
こぎ深さ調節方式	電動モータ式 (自動・手動併用)		
脱こく・選別部	脱こく方式	下こぎ軸流式	
	こぎ胴	径 × 幅 (mm)	420×1200
		回転速度 (rpm)	520
	処理胴	径 × 幅 (mm)	140×960
		回転速度 (rpm)	1720
	2番処理胴	径 × 幅 (mm)	190×300 (あざやかロータ)
回転速度 (rpm)		1620	
揺動選別板	幅 × 長さ (mm)	760×1795	
こく粒処理部	脱こく処理方式	グレンタンク・オーガ排出	
排わら処理装置 (オプション)	タンク容量 (L)	2000 (40袋)	
警報装置	マルチディスクカッター (結束・集束)		
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニター警報 (こぎ胴・処理胴・二番・もみ満量・排わら・チャージ・油圧・水温・燃料・尿素水・油水分離器・電子制御FDS・DPF再生・快速制御減速・結束減速・ロス制御減速・SCRシステム異常) ●オーガ未収納警報ブザー ●バックブザー 		
自動化装置	<ul style="list-style-type: none"> ●エコディーゼルエンジン ●快速制御 ●自動定回転制御 ●オートデセル ●車体水平制御 (左右) ●自動こぎ深さ ●刈終り自動収納 ●刈取オートリフト/オートセット ●刈取オートクラッチ 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●電子制御式自動脱こく制御 ●フィードチェンオートストップ ●オーガオートセット/オートリターン ●車体水平制御 (前後) ●OKリフト ●ロス制御 		
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ●エンジン緊急停止スイッチ ●エンジン始動安全 (セーフティペダル・脱こくクラッチ・オーガクラッチ) ●エンジン自動停止 (カッター詰まり・排わら詰まり・処理胴詰まり・2番詰まり・刈取搬送詰まり・電子制御FDS・結束ひも切れ※結束機装着時) ●手こぎ安全装置 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●集中注油 (電動) ●防鼠ハーネス ●脱こく選別モニター ●収穫量モニター ●水分計 ●収穫量マッピング 		
適応作物全長	(mm)	550~1300	
倒伏適応性	(度)	向刈り70度以下・追刈り85度以下 (自動操舵使用時30度以下)	
作業能率 (計算値)	(分/10a)	6~39	
型式名		C0012	
安全性検査合格番号		-	
運転免許		大型特殊 (農耕用)	

※1: 走行速度は、路面状態や機体質量により変化することがあります。 ※ ヤンマー純正オイルを必ずご使用ください。純正以外のオイル使用は故障の原因になります。
※ 改良などにより、予告なく変更することがあります。

ICTの力で、万全サポート。 スマートアシストリモート



スマートアシストは、ヤンマーの提供するICTを活用したサービスです。GPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働状況やコンディションの情報をもとに、機械トラブルの早期発見や営農支援システムによる農業経営をサポートします。

※ オートコンバインにはスマートアシストリモートの契約が必要です。



■ ICTによる営農支援

スマートアシスト搭載機なら、稼働時間や収穫量、燃料消費量、稼働軌跡を自動で記録。効率的な営農活動をサポートします。



■ 24時間365日ヤンマーが機械を見守ります。

お客様の大切な機械をリモートサポートセンターで、24時間365日体制で見守ります。機械の異常発生時は、機械が自動でヤンマーに連絡。異常箇所の診断や部品の手配などをスムーズに行い、ダウンタイムを軽減します。

ICTの力で農業のあらゆる「困った」を解決！

<p>エラー情報通知サービス 機械をモニタリングしてエラーを通知</p>	<p>盗難抑止見守サービス 機械の稼働を24時間見守る</p>	<p>稼働診断保守サービス 大きなトラブルを未然に防ぐ</p>	<p>稼働情報管理ツール 機械の稼働情報が見える</p>
<p>ほ場情報管理ツール ほ場ごとの情報がわかる</p>	<p>作業記録管理ツール 作業中にスマホで簡単入力</p>	<p>施肥設計システム 施肥マップの作成ができる</p>	

スマートアシスト対応機なら、すぐにご利用いただけます。

スタンダードコース利用料金	トラクター 最大10年間 コンバイン、田植機 最大7年間	無料	※無料期間終了後 22,000円/年(税込)
----------------------	---	-----------	---------------------------

最新の情報はここから スマートアシストの詳しい情報が表示されます。(スマートアシストホームページ)
<https://www.yanmar.com/jp/agri/support/smartassist/>

2021年4月以降に改定された利用約款を用いたスマートアシストリモートに関わる契約は、2020年3月に策定された農林水産省「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」に準拠しています。
 (「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」の詳細は、農林水産省ホームページをご参照ください。)

安心を支える、充実のアフターサービス。

プレミアム点検パック **無料** 標準装備

プレミアム1 機械の維持に大切な初回(50時間)点検のメンテナンスをご提供!

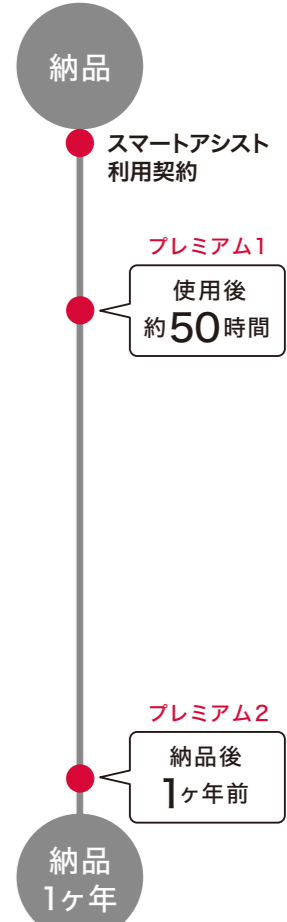
使用1年目の約50時間を経過した後、当社推奨項目の点検を行います。プロの目で点検チェックした機械なら、トラブルも未然に防ぎ、安心・快適な作業が行えます。

主な点検項目 (当社推奨)	■ エンジンオイル、フィルタ交換	■ ミッションオイル交換
	■ エアークリーナー清掃	■ 冷却水量確認
	■ 各部グリスアップ	■ 主要部点検・診断等

※ 機種・仕様により点検対象、項目が変わる場合があります。※初回(50時間)点検を受ける場合は「スマートアシストリモート利用契約」が必要です。※なお、アワメータが80時間を超えると点検が無効となる場合があります。

プレミアム2 さらに、保証期間を経過する前に、機械の診断チェックをご提供!

機械の保証期間(納品後1ヶ年)を経過する前に、当社指定のチェックシートで診断チェックを行います。末永く機械をお使いいただけるよう、ヤンマーが安心サポートいたします。



部品供給ネットワーク

ヤンマーでは、必要な部品を全国5ヶ所の流通センターに常時在庫しています。お客様が必要なおきに、必要なものを、販売網を通じてお届けします。

- 地域に密着し、お客様の手元へ迅速に部品をお届けします。
- より早く、正確にお届けするために、システムネットワークによる情報の一元化を図っています。

